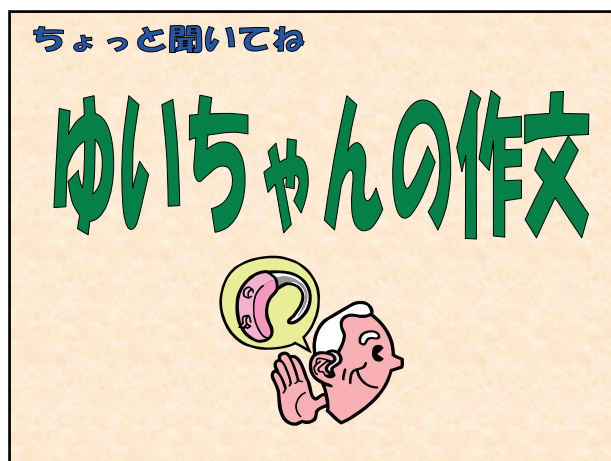
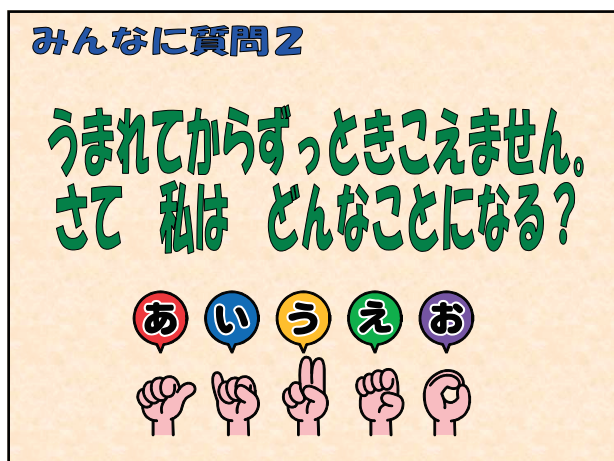
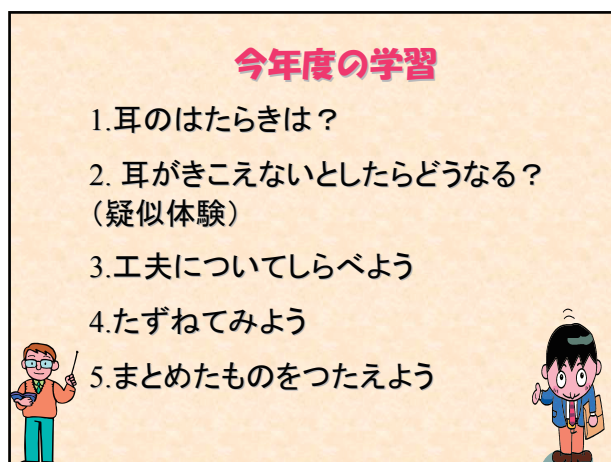


聴覚障害体験授業計画

時	ねらい	主な内容	担当
1 ・ 2	・聴覚障害疑似体験学習の全体計画をしる ・ゆいちゃんの作文を聞いて難聴者の発音をしる ・聞こえの仕組み、「ことば」を覚える課程について考える ・聴覚障害疑似体験セットについて説明する	・ゆいちゃんの作文 (発音をどう感じたか、なぜこうした発音になったか) ・成長記録をみながら言語発達について知る	豊田 久保山
3 ・ 4	・疑似体験セットをつけて授業を受ける。 ・音情報が入らない状態の不便さや気持ちについて知る	・実際に担任が授業を行う ・2回にわけ、子ども同士で様子を観察 ・音情報が入らないことについて話し合う。どんなことになるだろうか？	担任 豊田 久保山
5	・「少しだけきこえる」体験をしてみよう	・ほんの少し聞こえる状態で1時間の授業をうけ、休み時間を過ごす。 ・その様子をまとめる	担任 豊田 久保山
6 ・ 8	・調べ学習 耳の不自由な人の為にはどのような工夫があるだろう。 ・工夫で解決できないだろうか (バリアフリー→ユニバーサルデザイン 心のユニバーサルデザインへ) ・インターネットを使おう (ネチケットについて)	・どのような工夫があれば便利か考える。 ・ネットの使い方とマナーについて	担任
9 ～ 12	・パワーポイント (ひな形) を使って ・調べたことを文字にかいてみよう ・質問を文字にかこう	・ローマ字入力の練習。	豊田
13	・聴覚に障害がある人に色々とお話を伺う ・聴覚に障害がある人の生活の工夫について知る	・聴覚に障害がある人に来て頂き、お話を伺う	担任豊田 久保山
14 15	・自分たちが調べたことをみんなにつたえよう ・お話を聞いて考えたことを伝えよう	・パワーポイントを用いてプレゼンテーション	
以降	◎自分の回りには色々な人が存在することに気づく。人それぞれに「こまったなあ」をもっている ◎その中には障害がある人もいることを知る ◎疑似体験を思い出しその人のことを考えてみる ◎バリアフリー → ユニバーサルデザイン 心のユニバーサルデザインへ	クラスの状況に応じて、調べ学習や、意見交換を行えるとよいと考えます。学習の素材を言語障害と難聴に絞っているが、誰にもやさしい誰もがやさしい学級・学校作りの素材にして頂けることを願います。	担任



きこえの教室に通っていたともだちの作文

わたしは、耳が遠いので、ほちょうきをつけていますが、先生やともだちの話が、よく聞きとれないことがたくさんあります。

とくに、ほうそうの声はわかりません。
先生のお話も、先生が黒ばんの方をむきながらだと、聞きとれません。

でも、そんなときには、ちかくのともだちが、ゆっくり話して教えてくれるので、とてもたすかります。

先生もなるべく、わたしの顔を見ながら話してくださるので、よくわかります。

一番、にが手なのは、学きゆう会のような話し合いの時です。

つぎつぎと、いけんが出されても、わたしには話し合いのないようが、よくわかりません。

出されたいけんを黒ばんに書いてもらえたら、わたしも、話し合いにさんかできると思います。

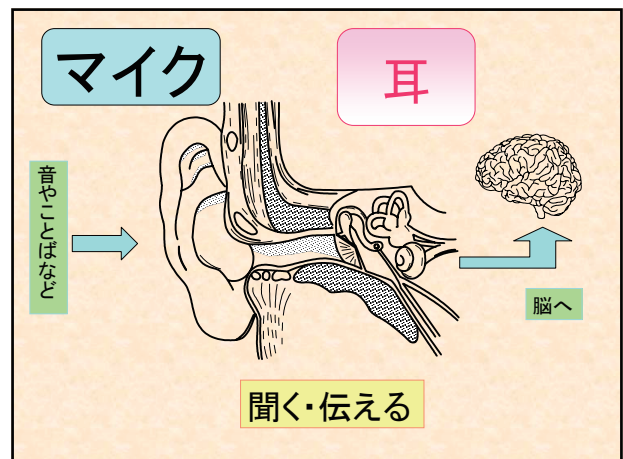
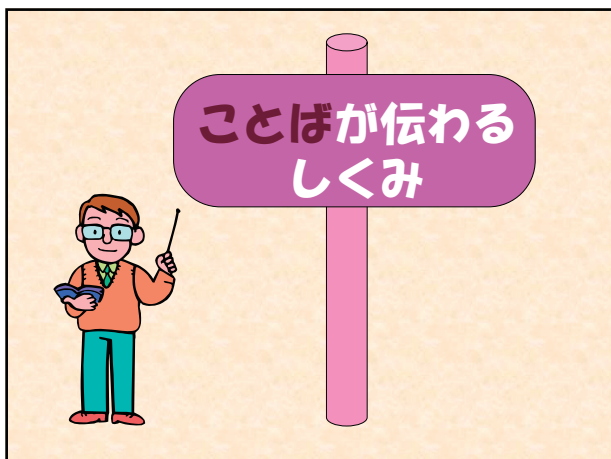
プールの時は、ほちょうきをはずしているので、ふえの音なども聞こえません。

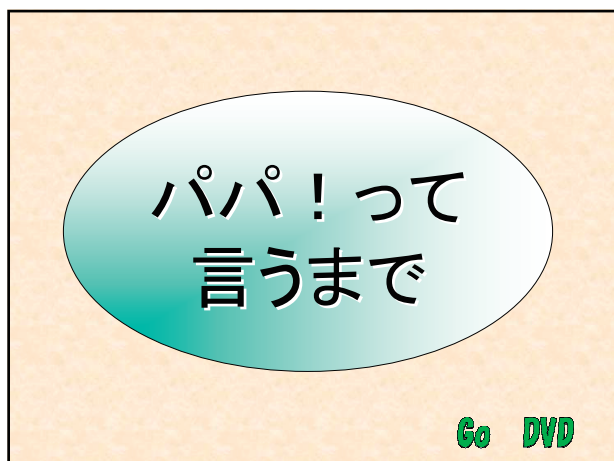
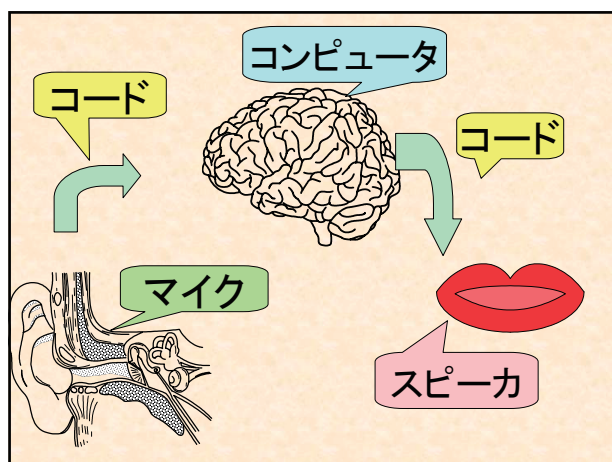
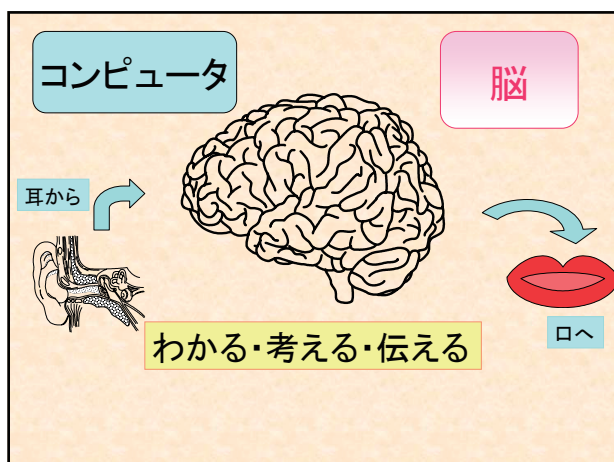
目に見えるようなあいずをしてもらえると、みんなと同じように、こうどうすることができます。

わたしが、みんなの前で教科書を読んだり、話をした後、
「わたしは、はつ音が悪いから……」
と言うと、

ともだちが「だいじょうぶだよ。よくわかるよ。」
とはげましてくれるのが、うれしかったです。

わたしが、わからなくて、こまっているときにも、めんどうさがらずに、教えてくれたり、みんなと同じように、なかよくしてくれるので、まいにち、楽しく学校にかようことができます





見ていた人

聞こえにくい人と話すとき
どんなことが
こまった？

担任の先生に
してほしい くふうは？

担任の先生にも
うかがってみよう！
授業は？？

あると便利なものは？
こんなものあったらいいな？

